



東京の水産業振興の展開 (令和8年度)

■ 目次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 東京の水産業を取り巻く状況・・・・・・・・・・ 3
- 現状及び令和8年度の主要な水産施策・・・・・・・・ 5



■ はじめに

都では、令和3年度に改定した「水産業振興プラン」に基づき、海洋環境が変化する中での持続可能な栽培漁業・漁場造成の取組推進、漁業就業者の確保・育成、漁業経営の安定化、食育活動や情報発信の充実など様々な施策に取り組んでいます。

一方で、海洋環境の変化等による漁獲種・漁獲量の変化、担い手の更なる減少と高齢化、操業の効率性・安全対策等水産業を取り巻く問題は依然として多く、それらに即応していくためには、水産業の振興に係る施策を柔軟に展開していくことが重要です。

そこで都では、令和4年度から時々の課題に対する専門家で構成する「東京の水産業振興に向けた専門懇談会」を毎年開催し、政策の検討を行っています。

令和7年度における懇談会のご意見を踏まえ、令和8年度に取り組む主な施策を取りまとめました。



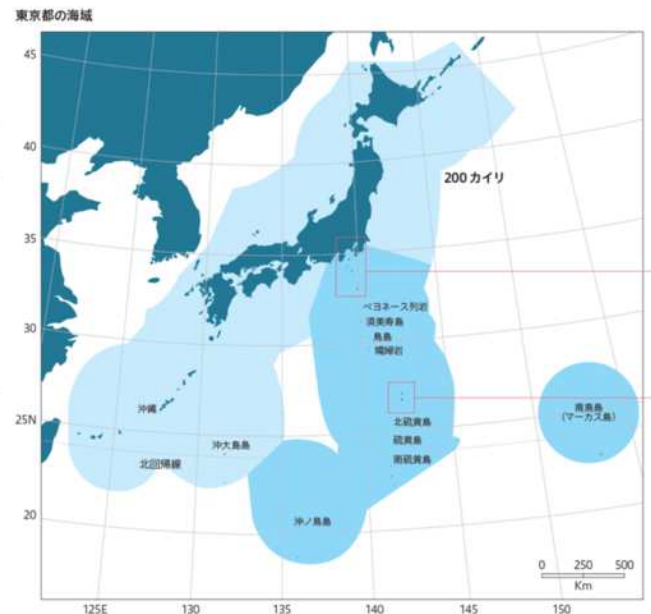
東京の水産業を取り巻く状況

東京の水産業

東京には、東京湾から伊豆諸島・小笠原諸島に至る南北約2,000kmの海域があり、東京都に接する排他的経済水域の面積は我が国の水域の約38%を占めています。また、都内の河川は107河川、総延長は858kmに及びます。

東京の水産業は、消費者へ新鮮で安全・安心な魚介類や水産加工品を提供するほか、島しょ地域などでは、基幹産業として地域経済をけん引しています。

また、漁業生産の場である河川や海は、都民に安らぎや潤いをもたらす空間としても大切な役割を担うなど、多面的な役割を果たしています。



漁業生産の推移

都の海面漁業生産は、近年、伊豆諸島でキンメダイの漁獲が伸びていることで、ここ10年の生産量は2,000~4,000トン台、生産額は30~40億円台を保っています。しかし、海洋環境の変化による回遊魚の減少や磯焼けの進行等により、長期的には減少傾向にあります。

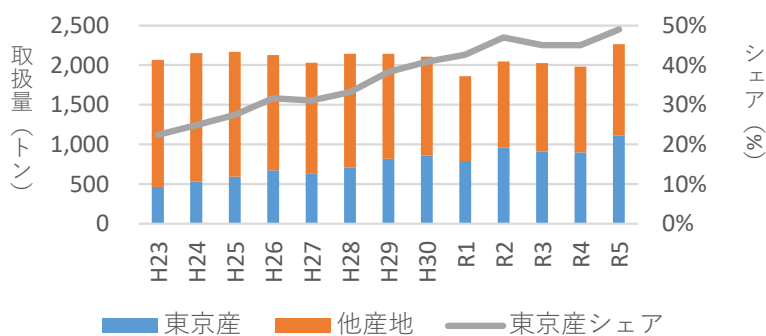


資料：東京都の水産（東京都）

消費流通動向

都内で水揚げされた水産物は、主に豊洲市場をはじめとする関東近県の市場に出荷され、消費者のもとに届けられています。このうち、東京都の主要魚種であるキンメダイは、豊洲市場での東京産の占める割合が近年上昇傾向にあります。しかし、認知度や評価は相対的に低く、今後、資源管理の観点から漁獲の抑制の可能性も予想される中で、魚価の向上が課題となっています。

豊洲（築地）市場の東京産キンメダイ取扱量
・シェアの推移



資料：東京都中央卸売市場 市場統計情報に基づき水産課が作成

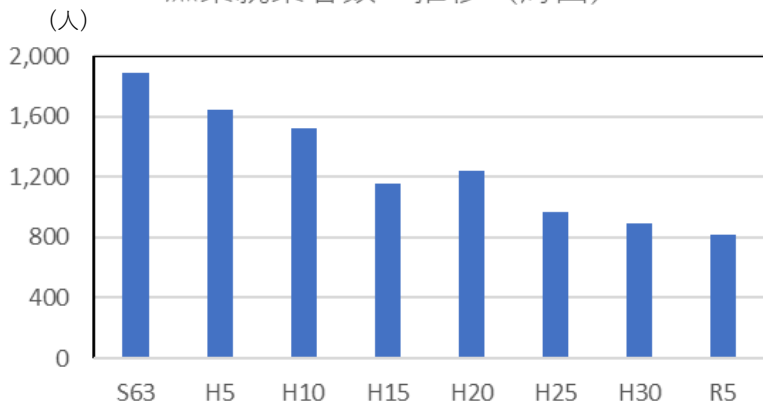


東京産水産物の調理講習会（ハマダイ）

漁業就業者数

令和5年の海面の漁業就業者数は820人となり、ここ10年間で約16%減少しています。島しょ部のみに限ると更に厳しい状況です。また、60歳以上の割合は約37%と全年齢階層で依然として最も高くなっています。

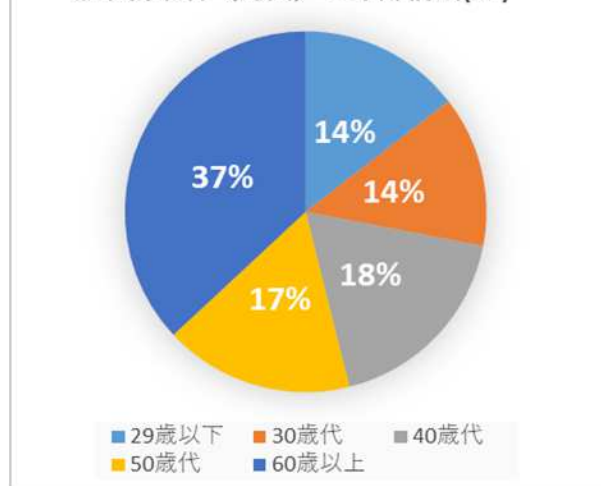
漁業就業者数の推移（海面）



※平成15年は避難中のため三宅村調査未実施

資料：漁業センサス（農林水産省）に基づき東京都が作成

漁業就業者（海面）の年齢構成(R5)



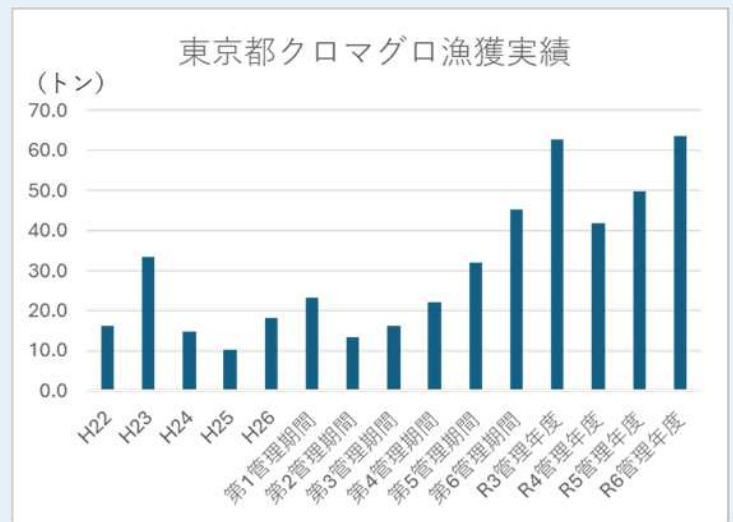
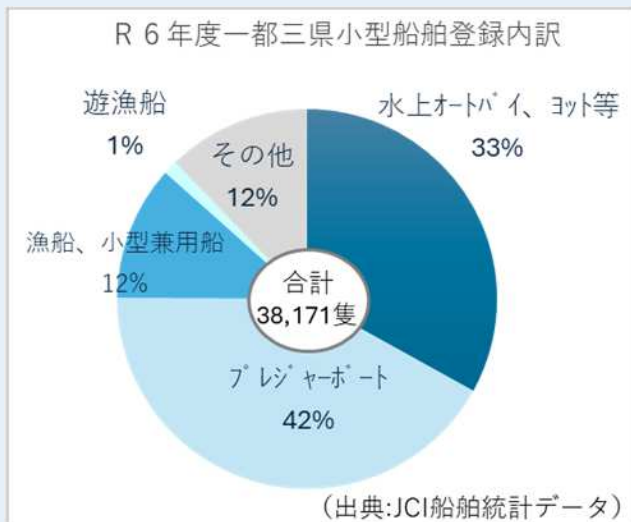
■ 現状及び令和8年度の主要な水産施策

海洋環境の変動や資源管理の強化など社会の変化に対応し、東京の水

1 資源管理の高度化・安定化

現状 1

- 好漁場である伊豆諸島では、東京の漁業者だけでなく、周辺県の漁業者・遊漁者も漁場を利用しています。
- 都は、キンメダイの資源管理を推進するため、主要漁場である伊豆諸島周辺海域での漁獲データの収集体制整備や、遊漁の実態把握等に取り組んでいます。
- 伊豆諸島ではクロマグロの漁獲が伸びる一方、遊漁による違法な採捕が増加しています。
- 資源管理の高度化・安定化を図るうえで、海洋・河川環境変化も踏まえた調査研究の充実が求められています。



- 関係県によるキンメダイの共通の管理方策の策定による資源管理
- クロマグロ遊漁に対する対応
- デジタル技術を活用した資源管理・調査研究

産業の更なる振興を図るため、以下の施策に取り組んでまいります。

※ **【拡】** は既存事業からの拡充事業
【新】 は令和8年度開始の新規事業を指す

施策1-1 キンメダイの資源管理強化

- 国へのキンメダイ漁業許可制導入提言と併せ、都の海区漁業調整委員会の承認制導入の調整を推進します。
- 資源評価精度向上に向け、遊漁の実態把握や、デジタル技術を活用した漁業操業情報収集を充実します。 **【拡】**



キンメダイ水揚げ

施策1-2 クロマグロ遊漁への対応

- 国のクロマグロ遊漁の届出制導入にともない、指導・取締体制を強化します。 **【拡】**



プレジャーボートによるクロマグロ遊漁

施策1-3 調査研究の充実

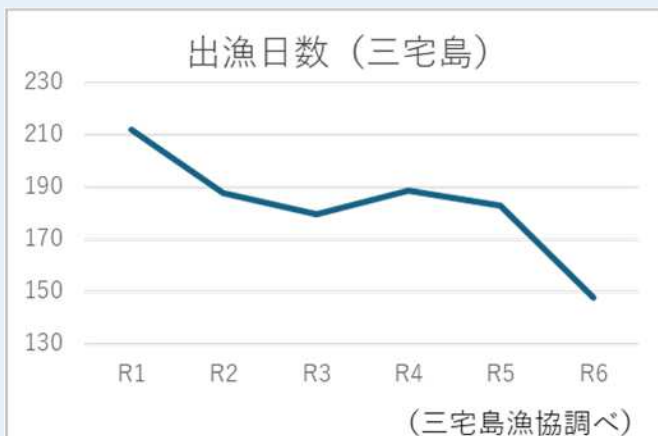
- AI等を活用したアユ遡上調査により収集データの充実を図り、遡上生態の科学的解明を推進します。 **【新】**



多摩川を遡上するアユ

現状 2

- 気象庁は黒潮大蛇行の終息を宣言しましたが、伊豆諸島周辺海域では依然として磯焼けが続いており、貝類や海藻など磯根資源の回復は進んでいません。
- また、内水面でも水量減少・水温上昇により養殖環境が悪化し、養殖経営体数が減少しています。
- 海況不良の日が増えるようになり、出漁日数が減少しています。
- こうした状況に対応するため、都では、陸上養殖の実証や、大学等と連携した海況予測等に着手しました。



- 気候変動に左右されない新たな水産業の創出
- 将来の環境を考慮した磯焼け対応
- 操業の効率性・安全性を高めるための海況の高精度予測

施策 2 - 1

陸上養殖の推進

- NTT東日本(株)と連携し、福生市にICT等を活用した閉鎖循環式プラントを整備、内水面漁連等も参画しヤマメ(サクラマス)の飼育を開始します。
- 貝類種苗を用いた陸上養殖の事業化に向け、利島村で実証試験を推進します。
- 新たな特産品化を目指し、神津島村と連携したチョウザメ養殖に着手します。【新】



コチョウザメ (フジキン提供)

施策 2 - 2

磯焼けへの対応

- 専門家会議で高水温下の藻場の保全・創造に向けた具体策等を策定します。【拡】
- 南方系の魚類や海藻の種苗生産にも対応できるように、栽培漁業センターの機能強化工事に着手します。

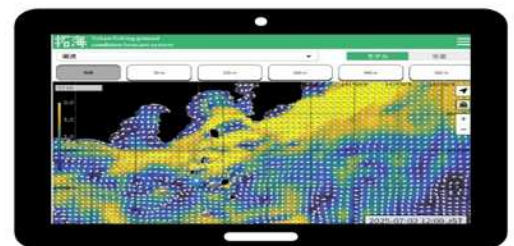


栽培漁業センターの機能強化(イメージ)

施策 2 - 3

操業の安全確保、効率化

- SUが提供する波浪等のデータを活用し、海況予測システムの精度向上を図ります。【拡】
- 操業の安心・安全を確保するため、漁船への船舶自動識別装置 (AIS) 導入を支援します。【新】

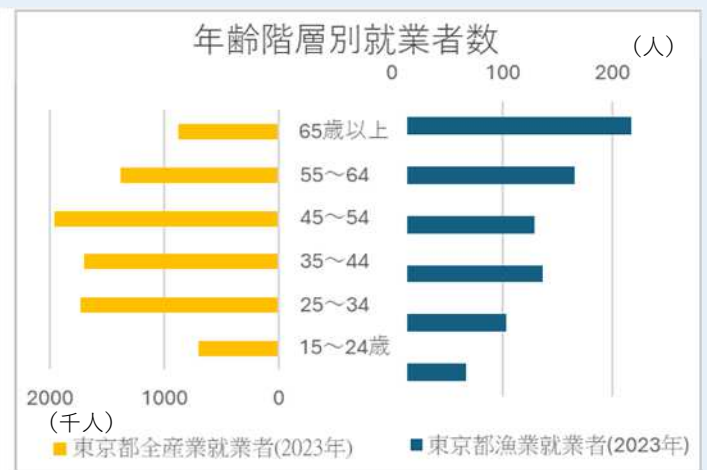


漁海況予測システム<拓海>

3 水産業の担い手の確保・育成

現状 3

- 都は、東京漁業就業支援センターを立ち上げ、担い手の確保・育成を支援しています。
- しかし、都の漁業就業者数は、15年間で約35%減少、60歳以上の割合は4割以上に上昇しています。
- また、漁業研修生の定着率も4割程度で推移しています。
- 漁獲量の減少や、職員不足等により、漁業者の経営を支える漁業協同組合の経営も厳しい状況にあります。



- 若者の漁業就業を増やすための必要な対策の加速や見直し
- 就業希望者・漁業研修生の不安を払しょくする取組
- 就業者の定着率を向上させる取組
- 漁業協同組合の経営対策

施策3-1

漁業後継者の獲得

- 若年層への漁業就業の意識を高めるため、水産系高校生等を対象とした漁業体験や、就業相談会を実施します。

【拡】

- 内水面養殖業者の事業継続・継承のため、施設改修等を支援します。【新】



漁業就業者フェア

施策3-2

新規就業者の定着・独立

- 経済的・技術的に不安定な独立直後の支援として、独立支援金制度やフォローアップ研修制度を創設します。【新】
- 新規就業者の定着率向上に向け、指導者等向けの研修を実施します。



漁業体験(イメージ)

施策3-3

漁業協同組合の経営改善

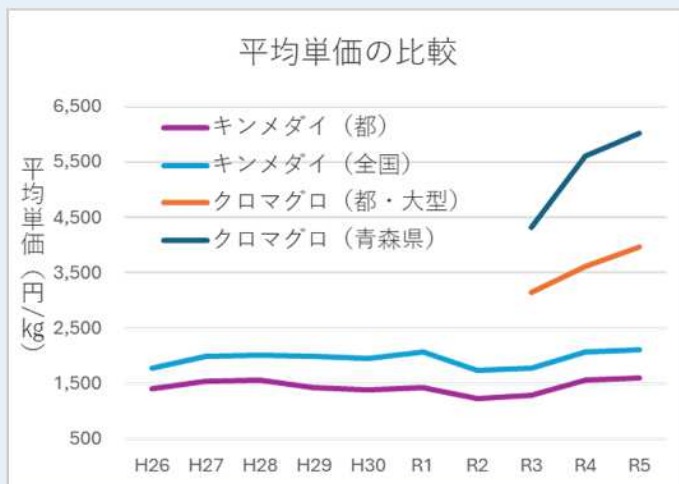
- 経営の厳しい漁協の経営改善計画の策定や実施を伴走支援します。
- 漁協事務のDXを支援し、業務効率化と人手不足解消を図ります。



4 東京産水産物の流通促進

現状4

- 東京産水産物の認知度は相対的に低く、平均単価も他産地より低い傾向にあります。
- 漁獲量の減少や、漁獲される魚種の変化等により、水産加工品の生産が漸減しています。
- 令和8年4月から、水産流通適正化法の対象にクロマグロ（30kg以上）が加わり、漁獲情報の伝達・保存が義務付けられます。



- 市場評価や消費者の認知度向上を図るための取組の推進
- 新たに漁獲量が増えた魚種に対応した商品開発や多様な販路の確保
- 流通適正化への対応

施策4-1 ブランド化の推進

- クロマグロのブランド化を進めるための基準づくりや、漁業協同組合等による品質向上の取組を支援します。

【新】

- 東京産水産物の販路拡大、認知度向上につなげるため、情報発信力の高いシェフ等を対象とした産地見学ツアー等を実施します。 【新】

- 民間企業のノウハウを活用し、消費者ニーズに合った加工品開発や、効果的なPR等を実施します。 【新】



水揚げされたクロマグロ



八丈島産水産加工品

施策4-2 水産物流通の適正化への対応

- 東京産クロマグロの漁獲・流通管理のため、二次元コードによるトレーサビリティシステムを本格運用します。
- 制度の適切な運用を図るため、必要に応じ取扱事業者等への指導・検査を実施します。 【新】

漁業操業風景



シジミ曳きかご漁業



底魚一本釣り漁業



トビウオ流し刺し網漁業